

降誕節第6週 聖餐礼拝

2015年2月1日 第一礼拝(8:00～) 聖餐礼拝(10:30～) 夕拝(19:30～)

前奏	(コラール前奏曲「血しおしたたる」)	司会者
聖餐の招詞	.....	司会者
※賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここにて」	司会者
聖書交読	交読文53「ルカの福音書第22章」(新聖歌921頁)	司会者
祈禱	.....	司会者
分餐	(新聖歌53)	司会者
感謝の賛美	新聖歌10「天地に勝る」	司会者
聖書朗読	『マタイの福音書』4章12-22節(新約5頁)	司会者
黙想	.....	司会者
説教	「責任とは目を離さないこと」	近伸之牧師
黙想	.....	司会者
※応答の賛美	新聖歌395「主はガリラヤ湖の」	司会者
感謝の献金	(讃美歌391)	司会者
感謝祈禱	.....	横山 洋平兄
諸報告	.....	司会者
※頌栄の賛美	新聖歌62「天つみ民も」	司会者
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	司会者
※祝福の祈り	.....	近伸之牧師
※後奏	(アーメン四唱)	司会者

(※印は、からだの不自由な方以外は、ご起立ください)

司会：近伸之牧師	音響・映像：片山 勝三兄	CS担当：片山 初子姉
集会：横堀 信子姉	奏楽：片山 敬子姉	配餐：横堀 正美兄
	説教の録画：山崎 敬典兄	掃除：片山 初子姉

説教メモ

- 「責任(Responsibility)」とは、「応答(Response)」+「能力(Ability)」を意味する。その意味で、「自己責任」という言葉は、じつは最も本来の責任から遠いところにある。責任とは、眼前の出来事から目を離さないこと。自己責任という言葉で、初めからなかったことのようにしてしまうことでは決していない。
- 唯一の理解者ヨハネが捕らえられた後、イエスは彼とまったく同じ言葉を宣言し、宣教を開始された(マタ3:2, 4:17)。神のために始めたわざは、たとえ世の暴力によって潰されたとしても、主が必ず完成して下さる。「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい」(ヘブル12:2a)。
- イエスは、ペテロたちを「ご覧になり」(18, 21)、弟子として招かれた。イエスのまなざしは、主が弟子のすべての責任をもたれる、決意の証し。弟子道は、家族を捨てる、仕事を捨てることではなく、家族への執着、仕事への執着を捨てること。主が私のわざを完成して下さることを信じ、すべてをゆだねること。

個人、団体からの来信

2015年2月1日

『世の光』第773号／宣教会協議の議事録／  
新潟福音放送協力会より会計報告(11月、12月分)および献金用封筒／  
『PBAだより』vol.635／「アンテオケ宣教会NEWS」第209号／  
いのちのこば社流通センターより、福音車21ゴスペルボックス(移動キリスト教書店)の訪問企画書

先週の集會出席者数

1/25(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 子供 成人男性-	幼児女子2 小学女子2 中学女子1 高校女子-	5名 成人女性-	
1/25(日)	第一礼拝	男2 女2 計4	1/26(月)	月曜家庭集會	男3 女3 計6
	歓迎礼拝	男10 女18 計28 子4	1/28(水)	バルナバ祈禱會	男3 女6 計9
	夕拝	男1 女- 計1	1/30(金)	しゃべり場夕ピタ	男- 女3 計3 子1
			1/30(金)	金曜祈禱會	男- 女4 計4

諸集會のご案内

2/2(月) 20:00～	月曜家庭集會	山崎岩雄兄宅にて	
2/4(水) 19:30～	阿賀野祈禱會	教会堂	司会：横堀 信子姉
2/6(金) 13:30～	しゃべり場夕ピタ	渡辺智子姉宅	問合先：小山 千春姉
2/7(金) 夜	金曜祈禱會	教会堂	

2/8(日) 降誕節第7週

第一礼拝 8:00～	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金	
教会学校 9:00～	担当：小林 洋子姉		
第二礼拝 10:30～	司会：横堀 正美兄 集会：小川 柳子姉	音響・映像：片山 勝三兄 奏楽：横山 洋平兄 説教の録画：山崎 敬典兄	感謝祈禱：伊東 一馬兄 掃除：小林 洋子姉
主日の予定			
礼拝について (通常礼拝)	開会：18「おお御神を…」 応答：	感謝： 頌栄：63「父 御子 御霊の」	説教：『使徒の働き』13章1-13節 派遣：53「主の祈り」
夕拝	19:00より新潟福音教会で行われる「信教の自由」講演会に合流します		

報告

1. 礼拝の感謝

聖餐礼拝の恵みを感謝します。新たな1ヶ月も主の恵みと贖いを覚えて歩みましょう。礼拝後はCS教師会を持ちます。また、午後には教会総会確認の役員会を行います。各話し合いが守られますように。

2. 個人のこと

1/18(日)の朝、猪爪 涉さん<sup>ゆうき</sup>和美姉ご夫妻に、長男湧生くんが生まれました。幼子の健やかな成長と和美姉妹の養生、ご家庭の豊かな祝福を祈りましょう。

3/28(土)の午後1時より荻窪栄光教会において、木村 愛先生と山下大喜先生のご結婚式が行われます。今月中に出席希望者数を取りまとめて先方へお知らせしますので、よろしくお願ひいたします。

猿から人間になったという古い話を聞くことはよくありますが、人間が猿になったという話はまだないようです。そんな事があれば、世界中のマスコミが大騒ぎすることでしょう。しかし現実はその以上のこと、すなわち「神が人となる」ということが、キリストにおいて実現しているのです。「神が人となる」ということは、人間が類人猿になり得ない以上に、あり得ないことなのです。神と人とは、質が違い過ぎ、次元が異なり過ぎるからです。それなのに、歴史の中にそれが実際に起きたということこそがクリスマスなので、まさにそれは神の非常手段であった、というべきでしょう。では、なぜ神はそのような非常手段をとられたのでしょうか。

人間が蟻になる？

「キリストは神が人となられたお姿なのだ」ということを宣教師からいくら聞かされても納得しない青年がいました。二人が庭を歩いている時、その青年は誤って蟻塚を踏み、蟻が死んでしまいました。「ごめん!そんなつもりじゃなかったんだ」と蟻に向かって言うと、宣教師は「いくら言っても通じませんよね。あなたの気持ちを伝えるにはどうしたらいいですか」と尋ねました。「私が蟻になるしかないですね。あつ!神が人になられた理由がわかった!」と言ったそうです。

「ことば」が人となる

ヨハネの福音書に「ことばは人となって、私たちの中に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた」(ヨハネ1・14)という句があります。この書の冒頭に「初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた」(同1・1~2)とあるところから、この「ことば」とは神のひとり子、キリストを指しているのがわかります。

それにしても、「人となった神」であるキリストを「ことば」という言い方をしているのは大変興味深いことではないでしょうか。「ことば」は、意思しているところを相手に伝達する媒体ともいえますが、それは話しことばや書きことばだけでなく、内なるものの表現としては、絵画や音楽なども広いえば「ことば」と考えられます。いずれにしても、「ことば」とはコミュニケーションの鍵、これなくしてコミュニケーションは成り立ちません。

ですから神は、「人となったことば」なるキリストを通して、私たちとコミュニケーションを回復しようとされたのです。



1973

週 Weekly Bulletin 報



2014年度教会目標

「互いに励ましながら」

年間目標 牧師・信徒がそれぞれ同じ教会のからだの一部分であることを自覚し、とりなし、励ます教会へ「ただ強く、雄々しくあってください」(ヨシヤ1:18b)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「キリストの御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めたのです」(ロマ15:20)

ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。  
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



2/7(土)「105歳の信仰」杉山ノブさん

■メッセージ:原田憲夫

静岡県三島市に住む杉山ノブさんは現在105歳。「神様に愛されているから、毎日が楽しくて幸せ」と語る杉山さんは、洋裁教室を運営しながら子育てをしていた頃に、クリスチャンになった。数年前から習い始めた「賛美フラ」の練習の様子や週5日通っているデイサービスでの様子とともに、お話を伺う。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata  
BEGin. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、  
『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>

電子メール: [info@toyosakakyokai.com](mailto:info@toyosakakyokai.com)

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

